

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月25日		記入者		内線	2619
部 名	保健福祉部	課 名	地域医療課		課長名	近藤 敏男
事務事業名	診療報酬明細書点検事業					
予算上の事務事業名	診療報酬明細書点検嘱託員経費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード			
基本目標						
政策名						
基本施策名	事業開始年度					
施策名	平成11年度 ▼					
2 実施根拠及び関連法令・条例等	老人保健法 相模原市診療報酬明細書点検嘱託員設置要綱					
3 個別計画の概要	概要					
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	指導・規制・許認可 ▼					
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)						(2) 対象(誰、何)
老人保健医療における医療給付費の支払に係る診療報酬明細書(レセプト)の点検を的確に行い、医療費の適正化を図るため、診療報酬明細書点検嘱託員を配置している。					老人保健医療受給対象者のレセプト	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
診療報酬明細書点検嘱託員 4名(常時2名ずつ配置) 点検件数(見込) ・全点検件数 1,070,947件 ・うち重点的点検件数 2,452件(保険点数の高いレセプトが対象) 請求内容点検調整額(点検結果による調整額)(見込) 62,947千円 受給対象者1人当たり財政効果額(見込) 1,490円						
6 関連・類似事業や他市の状況	本市においては、国民健康保険事業でもレセプトの点検を実施している。 他市町村においても、レセプトの点検を実施している。					
7 事業費の推移	[単位：千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	3,752	4,227	4,252	4,312	6,439	
一般財源	3,534	3,916	2,158	4,062	6,189	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	218	311	2,094	250	250	
人件費の合計	1,137	1,100	1,100	1,100	1,100	
事業コスト合計(a)	4,889	5,327	5,352	5,412	7,539	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	診療報酬明細書点検嘱託員経費(18年度から重点的 点検の抽出範囲の拡大を検討中)			対象名称 (単位)	重点的点検件数	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	3,752	4,227	4,252	4,312	6,439	
対象数	1,662	1,475	2,452	2,800	9,000	
単位あたり経費(円)	2,258	2,866	1,734	1,540	715	
前年度比		1.27	0.61	0.89	0.46	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	再審査申請率(%)	指標式と指標の説明	再審査申請件数/レセプト件数×100 レセプト件数に対する再審査申請件数の割合		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.4	0.6	0.4		
目標					
目標達成度					
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	受給対象者1人当たり財政効果額(円)	指標式と指標の説明	請求内容点検調整額/受給対象者数 受給対象者1人当たりの請求内容点検調整額の割合		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	1059.2	1090.5	1490.3		
目標					
目標達成度					
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		請求内容点検調整額の直近の3年度の伸びを見ると、費用対効果が高く、医療費の適正化を図る事業の一環として、成果は上がっているものと判断している。今後、重点的 point 点検の抽出範囲の拡大等、この事業の拡充・充実について検討する必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 今後さらにこの事業の成果を上げていくためには、診療報酬明細書点検嘱託員の増員が必要である。			14 課題として認識されたこと 診療報酬明細書点検嘱託員の増員に伴い、効率の良いレセプト点検のためのスペースを確保しなければならない。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			